

令和3年4月15日

名古屋市教育委員会 様

名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会  
会長 土屋 武志

野跡小学校と稲永小学校の統合に関する個別プラン（答申）

令和3年2月5日付け、2教教環第15号で諮問がありました「野跡小学校と稲永小学校の統合に関する個別プラン」については、「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」の趣旨を踏まえ、次の点に留意して取り組みを進めて下さい。

- 1 就学前の子どもがいる家庭にもしっかり周知すること。
- 2 統合までの交流活動などを通じ、一緒になっていくという方向性を持てるよう地域も含めた両校の連携を図ること。
- 3 統合に向けた新しい学校づくりにおける協議を踏まえ、多様化する教育課題へ対応できるように検討すること。

(案)

野跡小学校と稲永小学校の統合に関する個別プラン（答申）参考資料

1 審議における主な意見

(1) 取り組み全体

今まで通っていた所に通うということなので、穏やかに進んでもらえれば、一番ありがたい。

両校とも平坦な所にあり、土地の状況もよく似た所なので、これでよい。

統合するのは、大変なことだし、心配なこともあると思うが、子どもたちが大きく成長する機会になってほしい。

(2) 情報の共有、周知

今、通っている子どもたちは統合するときには卒業しているということになるので、就学前の子どもがいる家庭や地域住民にも徹底的に周知する必要がある。

統合というと、新しく建替えることとってしまうので、施設整備の内容についても、丁寧に説明して進めてほしい。

新しい要素がどんどん加わってくると思うので、新しい学校づくりの状況を多くの人に広めて行ってほしい。

(3) 交流活動など

統合までの交流活動などを通して、いずれ一緒の学校になっていくという方向性を、地域も含めて一緒に作り上げていけるとよい。

(4) 新しい学校づくり

今の学校の良いところを、新しい学校のビジョンへ繋げて行ってほしい。

多様な教育の方法、学習の方法、学校生活といった教育現場に求められることに対応できるような学校を実現してほしい。

30年後には少子化を迎えるであろう学校の校舎を今から考えるという視点で、施設整備を進めてほしい。

(5) 通学安全

実地等々を踏まえ、詰めていく必要がある。

2 審議の経過

(1) 審議前の経過報告

ア 令和元年12月2日

ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画に関する説明を受け、意見交換を行った。

イ 令和2年11月20日

野跡小学校と稲永小学校の統合に関する取組状況の報告を受け、意見交換を行った。

(2) 諮問及び審議の経過

ア 令和3年2月5日

「野跡小学校と稲永小学校の統合に関する個別プラン」について諮問され、審議を行った。

イ 令和3年4月15日

「野跡小学校と稲永小学校の統合に関する個別プラン」について、答申（案）に基づいて審議を行った。